

血液型で人の性格は判断できるか。反対意見

2005年5月2日 葉野 彩子

そもそも血液型とは…？

血液型とは赤血球の表面にある抗原によって決まります。これによって、免疫体質が人により異なります。

血液型診断はいつ始まったか？

1970年代に作家能見正比古氏が『血液型でわかる相性』という本を出版した事がどうもきっかけのようです。以後占い師などの参入によって広く血液型⇔性格のステレオタイプが日本人に浸透したようです。

血液型⇔性格という概念

この概念があるのは実は日本と韓国だけです。したがって外国人に「血液型は？」などと尋ねるととても不思議な顔をされます。

以上の事実をふまえて…

<私の予想>

血液型⇔性格ではなく、ここ30年で形成された血液型と性格の関連についてのステレオタイプにより、性格のある一面→一般的にこういう性格は●型という認識枠という図式が多く日本人に染み付いているのではないのでしょうか？

血液型というと何となく「科学的」な感じを受けます。それが妙に日本人に受けたのもあるでしょう。

血液型が人を決めるのではなく、血液型におけるスキーマが人を決め付けているのでは、と思っています。

診断された要素は多かれ少なかれ誰でも何型でも持っているものだから、診断が当たっているように感じるのだと思います。

実験

実験1. 被験者に血液型診断と称し、A型の被験者にはA型だけでなく、B型の診断も混ぜて書かれた診断書を渡す、というように一般に言われる診断をややゆがめて被験者に見せました。すると…

⇒殆どの人が「あたっている」と答えたそうです。

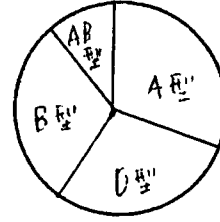
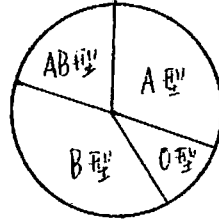
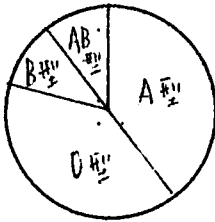
実験2. クラスの友人に協力してもらい、●●さん、△△さん、××君はそれぞれ何型かを予想してもらいました。

⇒結果…

●●さん (本当はO型)

△△さん (本当はA型)

××君 (本当はO型)



以上のように全く一致せずばらばらでした。

おそらく友人達はO型の●●さんに几帳面さを見出し、A型の△△さんにマイペースさを見出したのでしょう。

結論

以上より血液型で人の性格は判断できない、ということができると思います。